



SERVICE CLUB TO THE YMCA

Nagoya GRAMPUS

名古屋 グランパス ワイズメンズクラブ
NAGOYA YMCA 5-29KAMIMAEZU2-CHOMENAKAKU,
NAGOYA 460 JAPAN



- ① 国際会長標語 学びと奉仕と分かち合い
- ② アジア会長標語 天地の調和を取り戻そう
- ③ 日本区理事標語 新リジョン! さあ前進!
- ④ 中部部長標語 共に勝つ!
- ⑤ 会長標語 思いやりと勇気を持って突き進もう

1997年 5月号

<今月の聖句>

「わたしはまことのぶどうの木、わたしの父は農夫である。わたしにながっているながら、実を結ばない枝はみな、父が取り除かれる。しかし、実を結ぶものはみな、いよいよ豊に実を結ぶように手を入れなされる。わたしの話した言葉によって、あなたがたは既に清くなっている」
ヨハネによる福音書 第15章1節～3節

日本区大会まであと39日

がんばれグランパス!

989名登録

1997年5月例会のご案内

◎第一例会

とき : 5月11日(日)
ところ : 白鳥庭園 茶会

◎第二例会

とき : 5月27日(火) 19時より

◎ブリテン委員会

とき : 5月29日(木) 19時より

日本区実行委員会

とき : 5月6日(火) 19時より
とき : 5月12日(月) 19時より
とき : 5月20日(火) 19時より
ところ : 名古屋YMCA 407号
とき : 5/31(土) 6/1(日)
10時よりクイズ資料詰め

◎5月13~15日
サンドルクラブ訪問

西日本区次期会長研修会報告

4月26・27日六甲研修センターにて行われた西日本区次期会長研修会に参加させていただきました。快晴の中、緑あふれる研修センターに講師、役員、次期役員、次期会長等約120名が参加し、開講式の点鐘とともに始まりました。

1日目は「西日本区の組織」「理事方針」「事業部方針」「ワイズ国際協会とアジアエリア」「2000年に向けての長期計画(ロングレンジプランII)」「日本区に期待するもの」等講習があり、夕食をはさみ各部部长と次期会長との懇談、そしてフレンドシップアワーが夜中まで続きました。

2日目は、7時からの早天礼拝から始まり、「日本区の現状と問題点」「YMCAとのパートナーシップ」「会長・書記・会計の責務と事

務手続」「ワイズ温泉どっぷり論」「書類の整理の仕方」「会議の持ち方」の講義があり、閉講式の点鐘とともに午後3時過ぎにもりだくさんの研修が終了し、感想文を提出し六甲研修センターを後にしました。

研修を通して現日本区役員、次期西日本区役員の熱意がびしびしと伝わってきました。特にワイズメン韓国協議会事務处长崔氷一氏の「日本区に期待するもの」と題する韓国と日本とのIBCを発展させ、小学生・中学生・高校生の交換プログラムを広げようという話は、彼の御令嬢の「私はテレホンカードさえあれば、お金がなくても二日間は日本を旅行できる自信がある」という言葉とともにこれからのIBCそして国際交流ということを考えさせられました。今回の研修会を準備された役員の方々に感謝。
坂倉 洋

外から見たワイズメンズ

part 7 (ワイズメンズの妻たち)

今月は坂口 功祐氏のメネットにお願いいたしました。

「エッ!? 今日もYMCA、また食事しないの?」

一週間に一度はかわされる、主人と私の朝の会話である。最近日本区大会の準備も重なって週に二度はあるような気がする。最も食事を作るのは義母なので、私は文句を言えた義理ではないのだが。

「不良中年の会」は何がそんなに楽しいのかと思う程楽しそうである。会合の後の飲み会も毎度のコースである。(最近は会合の前にもあるらしい)これが男ばかりの会なら何やら怪しげであるけれど、ちゃんと女性も活躍しているので立派なものである。ただ普段居ない女房の話などしているのだろうから、何を言われているやら不安もあるけれど……。

昼間、会社では経費がどうの、利益がどうのと頭を悩ませているオジさん達が、何の報酬もないワイズメンズクラブに、何の目的があって集まるのか、全く不思議な話である。会費も決して安くはないし、お金がかかる事も多い。主人に聞けば「世界平和の為」と、何やらわけのわからないような理想論を述べてはいるが、とても本気とは思えない。内の主人などは会社を辞める事があっても、Yを止めるような事はないと確信している。「自分の場所」がそこにはあるようだ。

かくして、今日も主人はYMCAへ。「亭主元気で留守がいい」と思っているのは私ばかりで、内心不満のある奥様方もあるだろうな…と思いつつ。坂口 公美

五月の茶会

第二回目となりました茶会、前回は初釜と言う事もあって正月らしく雅の中で開かせていただきました。今回は立夏が過ぎ炉を閉じて、風炉で旬のひとつときを楽しんでいただきたく思います。

香呂=銘千鳥 (豊臣秀吉、徳川家康が愛用された名品、本物は徳川美術館会所蔵で美術館の監修のもとで複製された青磁香呂) 掛け軸=古今無二路 (旬の図) 棚=桑小卓 水差し=六角 (織部焼) 棗=キンマ (タイ) 茶碗=笹 (膳所焼)・替え/黄瀬戸 杓=竹の中節 蓋置=竹

‘96-’97 出席表

97.4.30

NO	例会	4/	4/	4/	4/	4/			
		6	8	14	17	22			
氏名		第一例会	大会委員会	大会委員会	大会委員会	第二例会			
1	阿部 一雄	○	○	○	○	/			
2	荒川 恭次	○	/	○	○	○			
3	井川 幸吉	○	○	/	○	○			
4	池野 輝昭	/	○	○	○	○			
5	馬場寅太郎	○	○	○	/	○			
6	尾崎 史忠	/	/	/	/	/			
7	加藤 道子	○	○	○	○	/			
8	加藤 元紹	○	/	○	/	○			
9	坂口 功裕	○	○	○	○	○			
10	坂倉 洋	○	/	○	○	○			
11	佐藤 壽晃	○	/	○	/	/			
12	真田 幸治	/	○	○	/	○			
13	丹羽 真清	○	○	○	/	○			
14	服部 庄三	○	○	○	○	○			
15	坂野 清治	○	○	○	○	○			
16	深谷 裕子	/	/	/	/	/			
17	三井 秀和	○	○	○	○	○			
18	吉田 一誠	/	/	○	○	○			
19	吉田 正	○	○	○	○	○			
20	木野村 映	/	○	○	○	○			



メンバー14日 池野 輝昭
 29日 真田 幸治
 メネット11日 三井 紗代子
 コメット17日 阿部 将也